



2022年6月21日

2022年度第2回 「いのちのセミナー」

WEB配信のお知らせ

誰しも避けられない“老い”に対して、いかに寄り添い、
いかに生きるかを演劇を通じて考えるセミナーをWEB配信

「老い」と「演劇」、どのような関係があるのか？劇作家・演出家・俳優であり、介護福祉士である菅原直樹氏を迎え、超高齢社会における、老いた方に「演じる」という寄り添い方の有用性と、やがて訪れる自分自身の「老い」に対しポジティブに捉える考え方について発信します。

1 配信期間 2022年6月21日(火) 14:00 ~ 9月30日(金) 14:00



※「YouTube」による録画配信
(配信イメージ)

2 講師 **菅原 直樹 氏** すがわら なおき 劇作家・演出家・俳優
劇団「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰
介護福祉士



〈演題〉 「老いと演劇」 ～認知症の人と“いまここ”を楽しむ～

繋がりが近い方ほど「元にもどって欲しい」という気持ちが働き、認知症に伴う言動をつい正したくなりますが、正すのではなく、相手が見えている世界を受け入れ、尊重することが大切。“老い”に対して、いかに寄り添い、いかに生きるかを演劇を通じて考えます。

「この世は舞台、人はみな俳優」。劇団「OiBokkeShi」は、超高齢社会に「演劇」というユニークな切り口でアプローチしてきました。今年96歳になる俳優・岡田忠雄さんは、これまで認知症の奥さまを自宅で介護しながら、数々のOiBokkeShiの舞台に立ってきました。演技をする上で大切とされる「いまここをともに楽しむ精神」は、認知症介護のストレスを軽減し、自身の老いをより豊かなものへと変えていきます。みなさんも俳優になったつもりで老いを楽しんでみませんか？

3 講演時間 約1時間

4 視聴方法 当財団ホームページ (<https://www.jrw-relief-f.or.jp/>) からご視聴ください。
※Wi-Fi環境など高速通信が可能な電波の良い所でご視聴ください。※ご視聴にかかる通信料はご負担ください。

5 主催等 主催／公益財団法人JR西日本あんしん社会財団
協力／西日本旅客鉄道株式会社

6 お問い合わせ JR西日本あんしん社会財団事務局
TEL 06-6375-3202 (平日 10:00~17:00) E-mail: info@jrw-relief-f.or.jp



【別紙】菅原 直樹 氏 プロフィール

栃木県出身。

劇作家、演出家、俳優、介護福祉士。

劇団「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰。

四国学院大学非常勤講師、美作大学短期大学部非常勤講師。

平田オリザが主宰する青年団に俳優として所属。

小劇場を中心に、前田司郎、松井周、多田淳之介、柴幸男、神里雄大の作品などに出演する。

2010年より特別養護老人ホームの介護職員として勤務。

2012年、東日本大震災を機に岡山県に移住。

2014年「老いと演劇」OiBokkeShi を岡山県和気町にて設立し、演劇活動を再開。並行して、認知症ケアに演劇的手法を活用した「老いと演劇のワークショップ」を全国各地で展開。さいたまゴールド・シアターと共同し制作した「よみちにひはくれない 浦和バージョン」(2018年/世界ゴールド祭)、OiBokkeShi×三重県文化会館「介護を楽しむ」「明るく老いる」アートプロジェクト(2017年～)など、劇団外でのプロジェクト、招聘公演も多数実施している。

平成30年(第69回)度芸術選奨文部科学大臣賞新人賞(芸術振興部門)を受賞。

平成30年度(第20回)岡山芸術文化賞準グランプリ受賞。

奈義町文化功労賞受賞。

2019年度(第1回)福武教育文化賞受賞。